

2019. 7. 10

一般社団法人静岡県信用金庫協会

第51回県内信用金庫連携による合同景況調査結果

一般社団法人静岡県信用金庫協会（会長 御室 健一郎）は、平成17年(2005年)10月以降、県内信用金庫連携による合同景況調査を実施しています。

各信用金庫が協力して取引先企業1,357社にアンケート調査を実施し、1,351社から得た回答（有効回答率99.6%）をもとに、県内経済を支える地元企業を広く網羅して分析したものです。

静岡県信用金庫協会では、地域に密着した信用金庫ならではの情報提供を通じて地域に貢献し、信用金庫の存在意義を高めていきたいと考えております。

「県内中小企業等の景況感DIは悪化」

【概況】

2019年4～6月の県内中小企業等の業況DI（企業の景況感を示す、「良い」とする企業割合から「悪い」とする企業割合を引いた数値）は、前回調査時（2019年1月～3月「以下同じ」）の▲4.4から▲9.7へと▲5.3ポイントとマイナス幅を拡大し、悪化した。

業種別にみると、不動産業（前回調査▲0.8→今回調査4.7）はプラス化、小売業（▲27.4→▲25.2）、サービス業（▲7.0→▲6.0）はやや改善したものの、建設業（23.1→8.7）がプラス幅の縮小、製造業、卸売業がマイナス幅を拡大し、悪化となった。

これを地区別の業況DIで見ると、東部地区はほぼ横ばいながら、中部地区、西部地区が悪化となり、全体的に悪化した（地区別の詳細は次頁のとおり）。

なお、各地区とも引き続き、深刻な人手不足、原材料・仕入価格の高騰などを経営課題として掲げている。

県内合計及び地区別DIの推移（全産業）

	2017年			2018年				2019年		
	4～6	7～9	10～12	1～3	4～6	7～9	10～12	1～3	4～6	7～9 (見通し)
東部地区	▲20.7	▲7.5	▲3.9	▲12.0	▲18.8	▲5.8	▲0.8	▲17.5	▲16.9	▲15.8
中部地区	▲2.7	4.4	6.7	▲6.3	▲2.3	▲1.3	8.9	3.8	▲3.4	▲9.7
西部地区	▲3.0	▲0.8	7.5	3.9	4.5	1.5	8.6	▲0.8	▲8.5	▲13.0
県内計	▲8.5	▲2.1	3.9	▲2.2	▲3.1	▲1.0	6.1	▲4.4	▲9.7	▲13.0

なお、2019年7～9月の業況見通しは、東部がやや改善を予想しているものの、中部、西部では悪化の見通しとしていることから、県全体では、悪化予想となっている。

■東部地区

東部では、製造業は▲11.9ポイント（▲9.9⇒▲21.8）、建設業は▲22.8ポイント（14.0⇒▲8.8）と悪化したものの、卸売業が3.3ポイント（▲32.3⇒▲29.0）、小売業が13.3ポイント（▲44.7⇒▲31.4）マイナス幅の縮小、サービス業（▲17.0⇒0.0）、不動産業（▲12.5⇒6.3）はプラス化したことから、全業種D Iは前回調査時の▲17.5から▲16.9へとほぼ横ばいとなった。

製造業

業況は、原材料価格の上昇や競争の激化により、売上が減少したため、マイナス幅が拡大し、悪化している。
今後の見通し（2019年7～9月期・以下同じ）としては、受注の回復、設備の導入などにより、業況は改善を見込んでいる。

（事業者の声）

- ・自動車業界は、米中貿易摩擦の影響など、世界的な経済情勢に左右されることが多く、最大限のリスクを想定して経営を行っている。（自動車関連部品製造）
- ・設備の老朽化は否めないが、成熟産業であり、今後の展望が不透明であることより投資に踏み切れない。（紙加工業）
- ・わさび農家の減少により仕入れ先が減少している。原材料の高騰が問題である。（食品製造）
- ・人手不足が一番の課題であり、不足に向けた賃上げや雇用制度の見直しに取り組んでいる。（機械製造）
- ・安定した人材の確保、販路拡大が課題。（プラスチック製品製造）

卸売業

業況は、堅調であることから、マイナス幅が縮小し、やや改善している。

今後の見通しとしては、仕入価格の上昇などから、売上、収益は減少の見通しで、業況は悪化を見込んでいる。

（事業者の声）

- ・需要は好調であり売上は増加しているものの、収益は減少している。（工業薬品卸）
- ・海外からの安価な木材が多数流通し、木材使用の住宅着工件数も減少していることから、厳しい環境下である。（木材卸売業）
- ・箱根の旅館を中心に鮮魚を卸しているが、ニュース等で噴火警戒レベルが引き上げになると観光客減少につながり影響を受ける。（水産物卸売業）

小売業

業況は、販売価格の上昇もあって改善したが、依然としてマイナス水準は高い

今後の見通しとしては、消費税増税前の駆け込み需要に期待はあるものの、競争の激化などから、業況は横ばいを見込んでいる。

（事業者の声）

- ・商品が大手スーパーやコンビニでも取り扱うようになったことや、需要が減少していることから売上は減少傾向（青果小売業）
- ・10月に大規模な商業施設がオープンすることから、影響を受けることは必至である。（食品小売業）
- ・洗車無料等の独自のサービスを提供することで、大手（他社）との差別化を図り、収益を確保した売上が維持できている。（ガソリンスタンド）
- ・キャッシュレス決済を導入し、顧客ニーズに合わせた運営と従業員の負担軽減を図っていく方針である。（生鮮食品小売）

サービス業

業況は、行楽シーズンの到来や大型連休により売上が増加したため、改善している。

今後の見通しとしては、人手不足や競争の激化などにより、業況は悪化を見込んでいる。

（事業者の声）

- ・業況については昨年比で売上、利益とも回復傾向にある。人手不足が課題であり、女性や外国人の採用を拡大していく予定。（ホテル業）

- ・地元企業の人材派遣・ライン管理を行っている。契約企業からの需要はあるものの、人手不足で、優秀な人材の確保に苦慮している。外国人労働者も仕事の選別を行っている。(人材派遣請負業)
- ・人手不足が問題であり、働き方改革にも対応できるよう、従業員の労働環境の向上を図っていく。(医療業)
- ・法規制の変更の都度、売上に影響があり、対応に苦慮している。(パチンコ店)

建設業

業況は、人手不足などにより、売上、収益ともに減少し、マイナス化となり、悪化している。

今後の見通しとしては、オリンピック関連など売上が増加する見通しであり、業況は改善を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・消費税増税を前に若干受注増となるも今後は不透明。(土木建設業)
- ・人手不足であるが、増員して固定費を増やすより外注支払対応の方が総利益率としてはよい。(総合建設業)
- ・人手不足および下請不足により受注に対応できていない状況である。今後、外国人を含めた人手不足解消と、下請け業社の確保が課題である。(機械据付業)
- ・職人の高齢化に加え、若年層が技術職を敬遠しているため、戦力になる人材の確保が難しい。(給排水設備工事)
- ・資材不足に伴う納期の遅延とともに、価格も上昇しており、採算が悪化している。(一般土木建築工事)

不動産業

業況は、商品物件が不足しているものの、売上、収益ともに増加したため、改善している。

今後の見通しとしては、オリンピック関連など駆け込み需要に期待しているが、引き続き物件不足により、業況は悪化を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・三島、長泉町は都内への新幹線通勤圏であるが、建売は3,000万円を超えると動きが鈍くなり、2,500万円前後が売りどころと考えている。(不動産売買)
- ・賃貸物件の老朽化が目立ち、空部屋が増加している。(賃貸不動産管理業)
- ・宅地造成分譲地の開発は増加しているが、需要は横ばい。(不動産仲介)
- ・増税後やオリンピック後に、不良在庫が増えないよう注意する必要がある。(不動産売買・仲介)

■中部地区

中部では、製造業は4.2ポイント(0.0⇒4.2)、小売業は20.3ポイント(▲29.4⇒▲9.1)と改善したものの、卸売業(2.1⇒▲21.7)、サービス業(10.3⇒▲25.6)が大きくマイナス化、建設業(36.2⇒23.4)、不動産業(11.9⇒2.4)はプラス幅が縮小したことから、全産業ベースの業況DIは、前回調査時の3.8から▲3.4へとマイナス化となり、悪化した。

製造業

業況は、原材料価格が上昇しているものの、売上が増加したことから、改善している。

今後の見通しとしては、引き続き原材料価格の上昇などから、業況は悪化を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・受注状況は良好であるも、製造部門の人員不足により生産性に影響が出ている。(食品機械製造業)
- ・消費増税前の駆け込み需要の動きがない。(建築用資材製造業)
- ・人員は不足しているが業務効率化により何とか対応している。(自動車部品製造業)
- ・販路拡大、人手不足解消などやらなければならないことが多い。(工作機械製造業)

卸売業

業況は、仕入価格の上昇などから、マイナス化となり、悪化している。

今後の見通しとしては、仕入れ価格の上昇傾向であるものの、業況は改善を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・仕入価格の上昇を販売価格に転嫁できておらず業況は厳しい。(乾物卸売業)
- ・大手企業の参入により競争が激化しており、経費削減と販路拡大が必須である。(詳細業種不明)
- ・人材不足の状況であるが、外国人労働者を受け入れる体制が整っていない。(鋼材卸売業)
- ・売上は増加しているものの現場での人材が不足している。(マグロ卸売業)

小売業

業況は、仕入価格が上昇しているものの、売上の増加から改善している。
今後の見通しとしては、売上、収益の減少から、業況は大きく悪化を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・健康志向が高い共働き世帯が増加していることにより、弁当や惣菜等の簡便化商品の需要は高まっている。(弁当販売業)
- ・仕入価格の上昇により販売価格の値上げを行ったが、客数が減少し厳しい。(和菓子小売業)
- ・市内の小中学校からの安定した売上があるものの、後継者不在により事業を終了する予定である。(スポーツ用品販売業)

サービス業

業況は、材料価格の上昇に加え、人手不足もあって、大きく悪化している。
今後の見通しとしては、業況は材料価格の落ち着きから改善を見込んでいるものの、依然としてマイナス水準が予想される。

(事業者の声)

- ・人材確保に窮しており、人手が足りず受注を断念したケースがある。(清掃業)
- ・人手不足の対策としてハローワーク・求人雑誌を利用するも効果が薄い。外国人労働者の採用も視野に入れているが、実現はしばらく先になる。(自動車整備業)
- ・働き方改革により繁忙期でも残業がしにくいことが不安材料。年間を通じての仕事量に波があるため、閑散期に別の事業を取り組めないか模索している。(サービス業)

建設業

業況は、材料価格が上昇しているため、悪化しているが、売上の増加により、プラス水準である。
今後の見通しとしては、引き続き材料価格の上昇により、業況は悪化を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・消費増税前の駆け込み需要もあり、着工件数は着実に伸びている。最近では女性の雇用も増加させている。(総合建設業)
- ・大手との競争は厳しいながら業況は安定している。最近になり後継者問題を考え始めた。(総合建設業)
- ・雇用支援機構や金融機関と連携した人材情報に期待している。(土木工事業)
- ・作業員の確保が厳しくなる中、外国人チームを作るために外国人労働者の採用も考えているが、定住性に不安がありしばらくは様子見を行う。(総合建設業)

不動産業

業況は、販売価格の低下などにより、悪化しているが、プラス水準は維持している。
今後の見通しとしては、在庫不足などが続くものの、業況は改善を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・静岡市中心部の商品物件は好調であるものの、郊外の物件の販売は低調である。(不動産販売業)
- ・同業他社や大手との競争を避けるべく、家族信託や空き家対策の活用に注力している。(不動産賃貸業)
- ・外国人に対する賃貸が増加しており、文化の違いや言葉の問題など注意が必要となっている。(不動産管理業)
- ・人手不足という感じはないが、現在、後継者への事業承継を考えている。(建売・土地売買業)

■西部地区

西部では、サービス業は10.2ポイント(▲6.4⇒3.8)、不動産業は9.2ポイント(▲3.8⇒5.5)と改善したものの、建設業が▲9.3ポイント(21.8⇒12.5)プラス幅が縮小したほか、製造業(▲3.2⇒▲11.6)、卸売業(▲6.3⇒▲16.3)、小売業(▲1.6⇒▲27.8)はそれぞれ悪化したことから、全産業ベースの業況DIは前回調査時の▲0.8から▲8.5へと、悪化した。

製造業

業況は、売上、収益などが減少したことから、悪化している。

今後の見通しとしては、売上の減少などから、業況は悪化を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・米中貿易摩擦の影響で、中国向け部品受注が減少している。(二輪車)
- ・元請からの受注は好調であり、今後も設備投資は頻繁に実施予定。(自動車用部品製造業)
- ・現状は適正人員だが、今後は女性、高齢者、外国人を積極的に採用していく。(切削部品加工業)

卸売業

業況は、売上、収益ともに減少したため、悪化している。

今後の見通しとしては、売上などの減少により、業況は悪化を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・仕入価格の上昇を販売価格に反映させることに苦戦している。(建築資材)
- ・チャイナリスクをヘッジするため、ベトナム・インドからの輸入を開始した。(織物)
- ・気候に左右される業態であり、近年同様の猛暑になると、肥料等の売上が減少する傾向にある。(肥料・農薬・石油製品卸売業)

小売業

業況は、売上、収益ともに減少したことから、大幅に悪化している。

今後の見通しとしては、売上などの増加により、業況は改善を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・全体の売上が減少傾向にあり、特に整備部門の減少が著しい。(自動車修理販売業)
- ・駅前商店街の集客力の低下もあり、売上・収益が減少している。(自転車)
- ・仕入価格の上昇が収益圧迫要因である。(造花)
- ・店舗内で作っている惣菜のコーナーはとても充実しており、来店客も多い。(食料品)

サービス業

業況は、売上などが増加したため、プラス化となり、改善している。

今後の見通しとしては、売上などの減少により、業況は悪化を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・今年のGWは10連休かつ令和の祝賀ムードもあり、好調に推移した。(飲食)
- ・宿泊は団体よりも個人層やファミリー層が増えている。(宿泊)
- ・働き方改革については、家族で営む理容業であり社内での影響は無いが、周辺企業に浸透してくれば従来土日に集中していた来店客も平準化が期待できる。(理容業)

建設業

業況は、売上や受注残の減少から、悪化したものの、引き続きプラス水準を維持した。

今後の見通しとしては、売上などの減少により、業況はやや悪化を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・主要取引先からの受注は、安定的に推移している。(土木建設)
- ・民間工事が増加しており、売上高は増加傾向にある。(総合建設)

- ・消費増税前で住宅新築を検討する消費者が増え、売上増加につながっている。
- ・現場を担う外注先や職人の確保が困難化してきている。

(住宅建築)
(建設工事業・一般住宅)

不動産業

業況は、売上、収益ともに増加したため、プラス化となり、改善している。
今後の見通しとしては、売上などの減少により、業況は悪化を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・安定した不動産賃貸収入があり、堅調に推移している。
- ・商品物件が不足しており、情報力・営業力の強化に努めている。
- ・個人向け不動産仲介は動きが鈍い、事業用不動産仲介に注力していく。

(不動産賃貸)
(不動産販売)
(不動産仲介)

[お問い合わせ先]

(一社)静岡県信用金庫協会

電話 : 054-255-5530

1. 業況(全業種)

	今回調査(2019年4～6月期)						前回調査(2019年1～3月期)					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
東部地区	2.2%	15.8%	46.9%	30.3%	4.7%	▲ 16.9	1.9%	15.6%	47.4%	29.5%	5.6%	▲ 17.5
中部地区	5.1%	18.8%	48.8%	23.2%	4.1%	▲ 3.4	3.8%	22.1%	51.9%	20.1%	2.1%	3.8
西部地区	2.2%	17.9%	51.3%	22.8%	5.8%	▲ 8.5	2.7%	21.4%	51.1%	20.3%	4.5%	▲ 0.8
県内合計	2.8%	17.5%	49.6%	24.9%	5.1%	▲ 9.7	2.8%	20.0%	50.2%	22.8%	4.3%	▲ 4.4

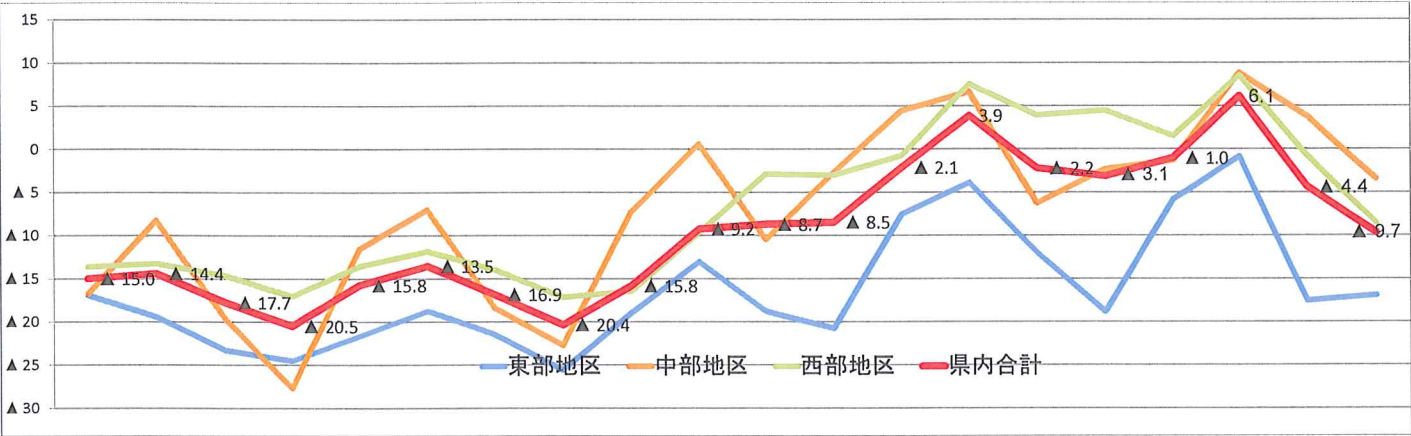
2. 業況予想(全業種)

	2019年7月～9月の業況予想					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
東部地区	1.7%	15.2%	50.4%	27.4%	5.3%	▲ 15.8
中部地区	3.0%	15.7%	53.0%	23.0%	5.3%	▲ 9.7
西部地区	2.0%	14.9%	53.1%	24.9%	5.1%	▲ 13.0
県内合計	2.1%	15.2%	52.4%	25.1%	5.2%	▲ 13.0

3. 業況(DI)の推移(全業種)

	2015年 4～6月期	2015年 7～9月期	2015年 10～12月期	2016年 1～3月期	2016年 4～6月期	2016年 7～9月期	2016年 10～12月期	2017年 1～3月期	2017年 4～6月期	2017年 7～9月期	2017年 10～12月期	2018年 1～3月期	2018年 4～6月期	2018年 7～9月期	2018年 10～12月期	2019年 1～3月期	2019年 4～6月期
東部地区	▲ 24.5	▲ 21.6	▲ 18.7	▲ 21.5	▲ 25.6	▲ 19.0	▲ 13.0	▲ 18.8	▲ 20.7	▲ 7.5	▲ 3.9	▲ 12.0	▲ 18.8	▲ 5.8	▲ 0.8	▲ 17.5	▲ 16.9
中部地区	▲ 27.7	▲ 11.6	▲ 7.0	▲ 18.4	▲ 22.7	▲ 7.3	0.6	▲ 10.4	▲ 2.7	4.4	6.7	▲ 6.3	▲ 2.3	▲ 1.3	8.9	3.8	▲ 3.4
西部地区	▲ 17.0	▲ 13.6	▲ 11.8	▲ 14.0	▲ 17.1	▲ 16.5	▲ 9.6	▲ 2.9	▲ 3.0	▲ 0.8	7.5	3.9	4.5	1.5	8.6	▲ 0.8	▲ 8.5
県内合計	▲ 20.5	▲ 15.8	▲ 13.5	▲ 16.9	▲ 20.4	▲ 15.8	▲ 9.2	▲ 8.7	▲ 8.5	▲ 2.1	3.9	▲ 2.2	▲ 3.1	▲ 1.0	6.1	▲ 4.4	▲ 9.7

県内合計及び地区別DIの推移(全産業)



資料 2
・業種別業況

1. 東部地区

	今回調査(2019年4～6月期)						前回調査(2019年1～3月期)					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	3.0%	11.9%	48.5%	32.7%	4.0%	▲ 21.8	1.0%	18.8%	50.5%	26.7%	3.0%	▲ 9.9
卸売業	0.0%	16.1%	38.7%	45.2%	0.0%	▲ 29.0	3.2%	9.7%	41.9%	38.7%	6.5%	▲ 32.3
小売業	2.3%	8.1%	47.7%	32.6%	9.3%	▲ 31.4	0.0%	7.1%	41.2%	40.0%	11.8%	▲ 44.7
サービス業	1.9%	20.8%	54.7%	17.0%	5.7%	0.0	3.8%	13.2%	49.1%	28.3%	5.7%	▲ 17.0
建設業	3.5%	21.1%	42.1%	29.8%	3.5%	▲ 8.8	3.5%	31.6%	43.9%	17.5%	3.5%	14.0
不動産業	0.0%	31.3%	43.8%	25.0%	0.0%	6.3	3.1%	9.4%	62.5%	25.0%	0.0%	▲ 12.5
全業種	2.2%	15.8%	46.9%	30.3%	4.7%	▲ 16.9	1.9%	15.6%	47.4%	29.5%	5.6%	▲ 17.5

2. 中部地区

	今回調査(2019年4～6月期)						前回調査(2019年1～3月期)					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	11.1%	18.1%	45.8%	20.8%	4.2%	4.2	4.2%	20.8%	50.0%	22.2%	2.8%	0.0
卸売業	2.2%	10.9%	52.2%	30.4%	4.3%	▲ 21.7	0.0%	25.0%	52.1%	18.8%	4.2%	2.1
小売業	2.3%	18.2%	50.0%	29.5%	0.0%	▲ 9.1	3.9%	11.8%	39.2%	43.1%	2.0%	▲ 29.4
サービス業	2.3%	16.3%	37.2%	32.6%	11.6%	▲ 25.6	3.4%	13.8%	75.9%	6.9%	0.0%	10.3
建設業	8.5%	31.9%	42.6%	17.0%	0.0%	23.4	8.5%	36.2%	46.8%	8.5%	0.0%	36.2
不動産業	0.0%	17.1%	68.3%	9.8%	4.9%	2.4	2.4%	23.8%	59.5%	11.9%	2.4%	11.9
全業種	5.1%	18.8%	48.8%	23.2%	4.1%	▲ 3.4	3.8%	22.1%	51.9%	20.1%	2.1%	3.8

3. 西部地区

	今回調査(2019年4～6月期)						前回調査(2019年1～3月期)					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	3.1%	18.2%	45.7%	25.3%	7.7%	▲ 11.6	2.6%	20.8%	49.9%	22.0%	4.7%	▲ 3.2
卸売業	0.0%	20.0%	43.8%	31.3%	5.0%	▲ 16.3	3.8%	23.8%	38.8%	28.8%	5.0%	▲ 6.3
小売業	0.0%	8.3%	55.6%	30.6%	5.6%	▲ 27.8	1.6%	18.0%	59.0%	16.4%	4.9%	▲ 1.6
サービス業	0.0%	17.0%	69.8%	11.3%	1.9%	3.8	4.3%	14.9%	55.3%	17.0%	8.5%	▲ 6.4
建設業	0.0%	27.5%	57.5%	13.8%	1.3%	12.5	2.6%	32.1%	52.6%	11.5%	1.3%	21.8
不動産業	7.3%	12.7%	65.5%	9.1%	5.5%	5.5	1.9%	15.1%	62.3%	17.0%	3.8%	▲ 3.8
全業種	2.2%	17.9%	51.3%	22.8%	5.8%	▲ 8.5	2.7%	21.4%	51.1%	20.3%	4.5%	▲ 0.8

4. 県内合計

	今回調査(2019年4～6月期)						前回調査(2019年1～3月期)					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	4.2%	17.0%	46.3%	26.1%	6.5%	▲ 11.4	2.5%	20.4%	50.0%	23.0%	4.1%	▲ 4.1
卸売業	0.6%	16.6%	45.2%	33.8%	3.8%	▲ 20.4	2.5%	21.4%	43.4%	27.7%	5.0%	▲ 8.8
小売業	1.5%	10.4%	51.0%	31.2%	5.9%	▲ 25.2	1.5%	11.7%	46.2%	33.5%	7.1%	▲ 27.4
サービス業	1.3%	18.1%	55.0%	19.5%	6.0%	▲ 6.0	3.9%	14.0%	57.4%	19.4%	5.4%	▲ 7.0
建設業	3.3%	26.6%	48.9%	19.6%	1.6%	8.7	4.4%	33.0%	48.4%	12.6%	1.6%	23.1
不動産業	3.1%	18.8%	60.9%	13.3%	3.9%	4.7	2.4%	16.5%	61.4%	17.3%	2.4%	▲ 0.8
全業種	2.8%	17.5%	49.6%	24.9%	5.1%	▲ 9.7	2.8%	20.0%	50.2%	22.8%	4.3%	▲ 4.4

資料 3
・業種別予想

1. 東部地区

	2019年7月～9月の業況予想					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	1.0%	15.7%	53.9%	24.5%	4.9%	▲ 12.7
卸売業	0.0%	6.5%	45.2%	48.4%	0.0%	▲ 41.9
小売業	1.2%	9.3%	47.7%	32.6%	9.3%	▲ 31.4
サービス業	5.7%	17.0%	47.2%	22.6%	7.5%	▲ 7.5
建設業	1.8%	22.8%	52.6%	21.1%	1.8%	1.8
不動産業	0.0%	21.9%	53.1%	21.9%	3.1%	▲ 3.1
全業種	1.7%	15.2%	50.4%	27.4%	5.3%	▲ 15.8

2. 中部地区

	2019年7月～9月の業況予想					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	5.6%	13.9%	52.8%	25.0%	2.8%	▲ 8.3
卸売業	0.0%	17.4%	54.3%	19.6%	8.7%	▲ 10.9
小売業	2.0%	10.0%	44.0%	30.0%	14.0%	▲ 32.0
サービス業	2.3%	16.3%	44.2%	30.2%	7.0%	▲ 18.6
建設業	6.4%	14.9%	63.8%	14.9%	0.0%	6.4
不動産業	0.0%	23.8%	59.5%	16.7%	0.0%	7.1
全業種	3.0%	15.7%	53.0%	23.0%	5.3%	▲ 9.7

3. 西部地区

	2019年7月～9月の業況予想					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	2.6%	14.5%	47.9%	28.5%	6.6%	▲ 17.9
卸売業	0.0%	17.5%	45.0%	33.8%	3.8%	▲ 20.0
小売業	0.0%	11.1%	56.9%	23.6%	8.3%	▲ 20.8
サービス業	3.8%	13.2%	66.0%	17.0%	0.0%	0.0
建設業	1.3%	22.5%	61.3%	13.8%	1.3%	8.8
不動産業	3.6%	9.1%	69.1%	14.5%	3.6%	▲ 5.5
全業種	2.0%	14.9%	53.1%	24.9%	5.1%	▲ 13.0

4. 県内合計

	2019年7月～9月の業況予想					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	2.7%	14.7%	49.7%	27.2%	5.7%	▲ 15.6
卸売業	0.0%	15.3%	47.8%	32.5%	4.5%	▲ 21.7
小売業	1.0%	10.1%	50.0%	28.8%	10.1%	▲ 27.9
サービス業	4.0%	15.4%	53.0%	22.8%	4.7%	▲ 8.1
建設業	2.7%	20.7%	59.2%	16.3%	1.1%	6.0
不動産業	1.6%	17.1%	62.0%	17.1%	2.3%	▲ 0.8
全業種	2.1%	15.2%	52.4%	25.1%	5.2%	▲ 13.0